

給与支払報告
特別徴収
に係る給与所得者異動届出書

		年度	1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度
福島県須賀川市長		〒962-0831	特別徴収義務者 指定番号 90008500		
給与と支払者 (特別徴収義務者)		所在地 須賀川市八幡町135	宛名番号		
フリガナ カブシキガイシャマルマル		フリガナ 株式会社 ○○○	所属 経理		
氏名又は名称 株式会社 ○○○		個人番号 又は法人番号 1234567890123	氏名 牡丹美子		
日提出		当絡者先	0248-75-○○○○ 内線 ()		
給与所得者	フリガナ スカガワ サブロー	(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異動年月日
	氏名 須賀川 三郎	60,000 円	40,000 円	20,000 円	◇◇年 1月 31日
	生年月日 (昭・平) 2年 9月 29日				
	個人番号 987654321012				
	受給者番号 0110				
	1月1日現在の住所 須賀川市柱田字中地前22				
異動後の住所 宮城県○○○	異動後の未徴収税額の徴収方法 (注)		異動事由		
		1. 特別徴収継続		1. 退職 2. 転職・長欠 3. 退職 4. 死亡 5. 支払少額・不定期 6. 合併・解散 7. その他	
		2. 一括徴収		2. 右から番号を記入	
		3. 普通徴収 (本人納付)		3. 右から番号を記入	

1. 特別徴収継続の場合

(新しい勤務先) 特別徴収義務者 指定番号	所在地	〒	法人番号	新しい勤務先へは、月割額 _____ 円を ____ 月分(翌月10日納入期限分)から 徴収し、納入するよう連絡済です。	
	フリガナ		担当者連絡先	所属	受給者番号
	氏名又は名称		氏名	電話	納入書の要否 (新規の場合のみ記載)
			内線 ()		<input type="checkbox"/> 右から番号を記入 1. 必要 2. 不要

退職に伴い住所の異動があれば記入してください。

2. 一括徴収の場合

理由	2	1. 異動が _____ 年12月31日までで、一括徴収の申出があったため	徴収予定月日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)	左記の一括徴収した税額は、 2 月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。
		2. 異動が ◇◇ 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	◇◇年2月20日	20,000 円	

3. 普通徴収の場合

理由	<input type="checkbox"/>	1. 異動が _____ 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため	徴収済月	更正月
		2. _____ 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため		
		3. 死亡による退職であるため		

一括徴収の場合、納入月は必ず記入してください。

異動事由

退職一括	退職一括	他一括()	転勤特徴
退職普徴	退職普徴	他普徴()	特徴継続
入力日	前年度	新年度	

(注) 新年度分又は両年度分の異動届出書を作成する場合における「異動後の未徴収税額の徴収方法」欄等の記載方法
 ① 新年度分の異動届出書を作成する場合であって、新しい勤務先において特別徴収されることを希望する場合、本欄は記載せずに、「1. 特別徴収継続の場合」欄に必要事項を記載してください。普通徴収されることを希望する場合、本欄及び各徴収方法欄は記載不要です。
 ② 両年度分の異動届出書を作成する場合、本欄は異動年月日時点で現に特別徴収している特別徴収税額について記載してください。
 ③ 両年度分の異動届出書を作成する場合における、現年度分及び新年度分それぞれの異動後の税額については、原則として以下の徴収方法によることを希望しているものとして扱われます。
 (現年度分) 本欄で選択した徴収方法。
 (新年度分) 「1. 特別徴収継続の場合」欄に記載があった場合は新しい勤務先における特別徴収。記載がなかった場合は普通徴収。

給与支払報告
特別徴収
に係る給与所得者異動届出書

		年度	1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度				
福島県須賀川市長	給与 支 払 者 (特別徴収義務者)	所在地	〒962-0831 須賀川市八幡町135		特別徴収義務者 指定番号 宛名番号 所属 氏名 当絡者先				
		フリガナ	カブシキガイシャマルマル						
		氏名又は名称	株式会社 ○○○						
		個人番号 又は法人番号	1234567890123						
給与所得者のマイナンバーを記入してください。 日提出		特別徴収義務者 宛名番号	90008500						
給与所得者のマイナンバーを記入してください。 日提出		特別徴収義務者 所属	経理						
給与所得者のマイナンバーを記入してください。 日提出		特別徴収義務者 氏名	牡丹美子						
給与所得者のマイナンバーを記入してください。 日提出		特別徴収義務者 当絡者先	0248-75-○○○○ 内線 ()						
給与所得者	フリガナ	スカガワ サブロー		(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴収 税額の徴収方法 (注)
	氏名	須賀川 三郎							
	生年月日	(昭・平) 2年 9月 29日							
	個人番号	987654321012							
	受給者番号	0110							
	1月1日 現在の住所	須賀川市柱田字中地前22							
異動後の 住所	宮城県○○○								
		60,000 円	6 月から 11 月まで 30,000 円	12 月から 5 月まで 30,000 円	◇◇年 11月 30日	1 右から 番号を 記入	1. 退職 2. 転職・長 3. 欠勤 4. 死亡 5. 支払少額・不定期 6. 合併・解散 7. その他	3 右から 番号を 記入	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)

1. 特別徴収継続の場合

(新しい勤務先) 特別徴収義務者	特別徴収義務者 指定番号	退職に伴い住所の異動があれば 記入してください。		法人番号	新しい勤務先へは、月割額 _____ 円を _____ 月分(翌月10日納入期限分)から 徴収し、納入するよう連絡済です。	
	所在地	〒		担当者 連絡先	所属 氏名 電話	受給者番号
	フリガナ			内線 ()		納入書の要否 (新規の場合のみ記載)
	氏名又は名称					<input type="checkbox"/> 右から 番号を 記入 1. 必要 2. 不要

2. 一括徴収の場合

理由	右から 番号を 記入	1. 異動が	年12月31日までで、一括徴収の申出があったため	徴収予定月日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)	左記の一括徴収した税額は、 _____ 月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。
		2. 異動が	年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	月 日	円	

3. 普通徴収の場合

理由	右から 番号を 記入	1. 異動が ◇◇ 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため 3. 死亡による退職であるため
----	------------------	--

※市町村記入欄	宛名コード	徴収済月	更正月
	異動事由		
	退職一括 退職普徴	休職一括 休職普徴	他一括() 他普徴()
入力日	前年度	新年度	

(注) 新年度分又は両年度分の異動届出書を作成する場合における「異動後の未徴収税額の徴収方法」欄等の記載方法
 ① 新年度分の異動届出書を作成する場合であって、新しい勤務先において特別徴収されることを希望する場合、本欄は記載せずに、「1. 特別徴収継続の場合」欄に必要事項を記載してください。普通徴収されることを希望する場合、本欄及び各徴収方法欄は記載不要です。
 ② 両年度分の異動届出書を作成する場合、本欄は異動年月日時点で現に特別徴収している特別徴収税額について記載してください。
 ③ 両年度分の異動届出書を作成する場合における、現年度分及び新年度分それぞれの異動後の税額については、原則として以下の徴収方法によることを希望しているものとして扱われます。
 (現年度分) 本欄で選択した徴収方法。
 (新年度分) 「1. 特別徴収継続の場合」欄に記載があった場合は新しい勤務先における特別徴収。記載がなかった場合は普通徴収。

給与支払報告
特別徴収
に係る給与所得者異動届出書

		年度	1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度
福島県須賀川市長 給与所得者のマイナンバーを記入してください。 日提出	給与支払者	所在地	〒962-0831 須賀川市八幡町135		
		フリガナ	カブシキガイシャマルマル		
		氏名又は名称	株式会社 ○○○		
		個人番号又は法人番号	1234567890123		
		特別徴収義務者指定番号	90008500		
	宛名番号				
	所属	経理			
	氏名	牡丹美子			
	内線	0248-75-○○○○			
給与所得者 フリガナ スカガワ サブロー 氏名 須賀川 三郎 生年月日 (昭・平) 2年 9月 29日 個人番号 987654321012 受給者番号 0110 1月1日現在の住所 須賀川市柱田字中地前22 異動後の住所 宮城県○○○	(ア) 特別徴収税額(年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額(ア)-(イ)	異動年月日	異動後の未徴収税額の徴収方法(注)
	60,000 円	20,000 円	40,000 円	◇◇年 9月 30日	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収(本人納付)
		6月から 9月まで	10月から 5月まで		2 右から番号を記入 事由・理由
					1 右から番号を記入

※個人事業主の場合、転勤先に事業主のマイナンバーが漏れるのを防ぐため、記入しないでください。

忘れずに記入してください。

忘れずに記入してください。

退職に伴い住所の異動があれば記入してください。

1. 特別徴収継続の場合		新しい勤務先		納入書	
特別徴収義務者指定番号	90009999	法人番号	2345678901234	新しい勤務先へは、月割額	5,000 円を
所在地	〒△△△-△△△△ 宮城県○○○	担当者連絡先	経理 赤松 百合	10 月分(翌月10日納入期限分)から	徴収し、納入するよう連絡済です。
フリガナ	サンカクカブシキガイシャ	氏名	022-○○○-△△△△	受給者番号	9630
氏名又は名称	△△△株式会社	内線	()	納入書の要否(新規の場合のみ)	1 必要 2 不要

必ず転勤先を経由して送付してください。
※特別徴収義務者が変わらない場合は、報告の必要はありません。

給与支払者の法人番号又はマイナンバーを記入してください。

会社使用の社員番号等があれば、必ず記入してください。

3. 普通徴収の場合	
理由	<input type="checkbox"/> 1. 異動が 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため <input type="checkbox"/> 2. 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため <input type="checkbox"/> 3. 死亡による退職であるため

宛名コード	徴収済月	更正月
異動事由		
退職一括	退職一括	他一括()
退職普徴	退職普徴	他普徴()
入力日	前年度	新年度

(注) 新年度分又は両年度分の異動届出書を作成する場合における「異動後の未徴収税額の徴収方法」欄等の記載方法
 ① 新年度分の異動届出書を作成する場合であって、新しい勤務先において特別徴収されることを希望する場合、本欄は記載せずに、「1. 特別徴収継続の場合」欄に必要事項を記載してください。普通徴収されることを希望する場合、本欄及び各徴収方法欄は記載不要です。
 ② 両年度分の異動届出書を作成する場合、本欄は異動年月日時点で現に特別徴収している特別徴収税額について記載してください。
 ③ 両年度分の異動届出書を作成する場合における、現年度分及び新年度分それぞれの異動後の税額については、原則として以下の徴収方法によることを希望しているものとして扱われます。
 (現年度分) 本欄で選択した徴収方法。
 (新年度分) 「1. 特別徴収継続の場合」欄に記載があった場合は新しい勤務先における特別徴収。記載がなかった場合は普通徴収。